

学校だより

いちよう



薩摩川内市立副田小学校
薩摩川内市入来町副田 2030
TEL 0996 - 44 - 2928
FAX 0996 - 44 - 2931
令和3年1月20日 発行

少年老い易く学成り難し 一寸の光陰軽んずべからず

校長 橋口 俊崇

先週は多くの保護者の皆様に授業参観と学級PTAに参加していただきました。ありがとうございました。また、4年生は「半成人式」を行いました。「成人（20歳）の半分（10歳）」で「半成人」というわけです。子どもたちはこれまでの感謝とともに、将来の自分の夢などを保護者の皆様の前で発表することで、成人になるまでの残りの10年（法的には来年の4月1日から18歳で「成人」になります）をどう過ごすか、ということを考える機会になったことと思います。

さて、半成人を迎えた子どもたちにとっては、これまで生きてきた10年間も、次の区切りである成人までの10年間も、ずいぶん長い道のりに感じているのではないかと思います。だから、自分の将来の夢を考えてみても、あくまでも「夢」であって、あまり実感を伴っていないかもしれません。

でも、親の立場から見れば、1年生であれ6年生であれ、子どもが生まれたときのことはついにこの前のことのように感じるのではないのでしょうか。考えてみれば、子どもとして過ごすのは人生の4分の1ほど。残りの4分の3は大人として過ごすわけですから、子どもと大人の時間に対する長さの感じ方が違うのは当然のことです。しかし、心身ともに大きな成長が望めるのは「子ども」の期間です。今年「半成人」を迎えた4年生の子どもたちだけでなく、他の学年の子どもたちもみんな成長の真っ最中です。子どもたちにとって、まさに「今」が大人の何倍もの早さで成長できる時期なのです。しかし、逆の見方をすると、無駄に過ごす時間も大人の何倍もの早さで進んでしまうということになります。「少年老い易く学成り難し 一寸の光陰軽んずべからず」。ふと、この言葉を思い出してしまいました。大人よりもずっとたくさん時間を持っている子どもたちに「今」という時間の大切さを自覚させるのはなかなか難しいのですが、私たちは粘り強く「今」の大切さを伝えていく必要があると思います。そして、子どもたちがそれぞれの時間を大切にしながら、自己実現に向けて今後も健やかに成長してくれるように力を尽くしていきたい…。年の初めに当たり、半成人を迎えた子どもたちを見ながらいろいろと思いを巡らせることでした。



1月14日 全員登校60日を達成しました

2月の主な行事

日	曜	行事
1	月	校内読書月間
2	火	委員会活動（4年生見学）
3	水	第2回三役選考委員会
5	金	クラブ活動（3年生見学）・移動図書
8	月	学力向上強調週間（～14日）
9	火	学校運営協議会（入来小・午後）
10	水	新入学保護者説明会 第3回三役選考委員会
11	木	(祝) 建国記念の日
12	金	クラブ活動
13	土	なわとび大会
18	木	仲よし読書 ひまわり親子読書会
19	金	お茶出前授業（5年生）
23	火	(祝) 天皇誕生日
24	水	入来地域小中一貫教育研修会（副田小で実施）※全校5時間授業

※10日（水）に予定していた新入学児体験入学は、感染症対策のため保護者だけに参加していただく入学説明会に変更しました。



3月の主な行事（変更される場合があります）

日	曜	行事
3	水	学級PTA 第7回すこやか会議 第6回PTA理事会
5	金	6年生を送る会 お別れ遠足
8	月	学力向上強調週間（～14日）
13	土	シェイクアウト訓練（朝の活動）
17	水	卒業式予行
20	土	(祝) 春分の日
24	水	卒業式
25	木	修了式 大掃除
29	月	辞任式 第7回PTA理事会 PTA送別会（？）

☆3月9日（火）より、卒業式に備えるため体育館の施設開放を中止いたします。御了承ください。
☆年度当初の計画では3月29日（月）にPTA送別会を予定していましたが新型コロナウイルス感染症の影響で開催できるかどうか分かりません。今後、PTA理事会等で検討の上、お知らせいたします。



薩摩川内元気塾 1月9日（土） 宮之城吹奏楽団演奏会

雪が積もった1月9日（土）に、薩摩川内元気塾の催しとして、宮之城管弦楽団の皆様をお招きして演奏会を実施しました。総勢27名の楽団員による生演奏は、高音部の伸びやかな響きや低音部の重厚さなど、まさに大迫力でした。「星条旗よ永遠なれ」「童謡メドレー」などの他に今流行の「紅蓮華」や本校の校歌なども演奏してくださいました。これほどの大編成の楽団の演奏を生で聴ける機会はなかなかないと思います。宮之城吹奏楽団の皆様、本当にありがとうございました。



学校応援団 1月9日（土）

学校応援団の上美由紀先生に4年生の書き初めの指導をしていただきました。題材は「明るい心」です。4年生だけでなく、副田小のみんなが「明るい心」で過ごせる1年になるとよいですね。上先生、ありがとうございました。今年もよろしくお願いたします。

学校給食週間 1月12日～15日

戦後の食糧難で悪化した児童生徒の栄養状態の改善を図るため、昭和21年末に学校給食が再開されました。文部科学省では学校給食の意義や役割についての理解や関心を高めるため、1月24日から30日までを「学校給食週間」としてしています。本校では1月12日～15日を「校内学校給食週間」として、子どもたちに「食」について考えさせるために、栄養教諭の杉山先生に食に関する授業を行っていただきました。

